

涼しくてあったかいまちをつくらう！



植物を一株植えるごとに、私たちの想いも根付きますように…

二〇〇九年八月発行

第十八号

大好き
みどり

やっぱり

今年で設立1年目。「継続は力なり。」を実践中です

2003年4月、私たち「大田・花とみどりのまちづくり」はNPO法人として東京都より認証を受け、活動を開始しました。設立当初より大田区から「駅前花壇の維持管理」「区内圃場の緑地管理」といった『公共事業』を引き受けての出発でしたので、「仕事としてやらなくてはならないこと」にいきなり直面しました。

メンバーはほぼ全員が、造園のプロではなく「ふつうの区民」…最初はとても不安でしたが、だからこそ「こうでなくてはダメ」という既成概念に囚われることなく、ひとつひとつのプロセスを、私たちにできる手法でこなす、知恵と工夫を生み出すことができました。私たちにできる＝誰でも参加できる、ハードルの低い活動ともいえ、それによって多くの区民が参加出来る場として活用できる「みどりのフィールド」が、区内にたくさん広がりました。



保育園や児童館で、子どもたちと一緒に花壇作り

「生まれ故郷」の想いも、大切に受け継いでいます

大田区は1996年に大田区公園緑地振興公社を設立しました。区民の代表で構成される公社評議会で「市民参加で大田区のみどりの保全と創出を」という提案に(当時はまだ今のように市民参加は定着していなかった)、公社は区民の実行委員による「みどり大好き」という啓発事業と、公共の場での花植えや手入れを行う「緑化協力員」というボランティア活動をスタートさせました。当時は、登録メンバーと公社とが、個別に「縦」につながる形態の活動でした。

2002年には公社の解散が決定され、活動の場を自力で運営できなくては、活動そのものができなくなってしまう事になり、メンバー間で「横」につながる必要に迫られたこと、また、当初の理念に集まった仲間の想いと力を生かすべく、NPO法人設立に向けて動き出しました。



啓発事業として毎年行っている「環境フォーラム」

私たちの仲間は、全国に、全世界に…

これまで多くの「想い」をカタチにしてきましたが、まだまだ「やりたいこと」がたくさんある欲張りな私たち。よりよい未来を目指すからには「これで終わり」ということは、ないのかもしれない。周りを見ると国内外に、魅力的でお手本になる活動も多くありますので、そんなフィールドにはみんなで直接出かけていき交流や情報交換を行っています。

そうして学んできた、自分たちがやりたいことのほかに、区や区民の皆さんから「相談」を頂くことも多くあり、課題はどんどん溜まっていきますが、それらをひとつひとつ、クリアしていくことによって、いつか大田区ならではの、オリジナルな知恵と工夫を発信したいものと願っています。

次からのページで、各地で視察した事例をいくつかご紹介します。



先進事例を学ぶための研修も行っています

公園の管理・運営

野山北・六道山公園（武蔵村山市）

狭山丘陵と聞くと、埼玉の所沢周辺を思い浮かべる人が多いと思いますが、実は狭山丘陵は埼玉と東京にまたがっていて、南側の斜面は東京都も含まれます。そこに広がる都内最大の都立公園が「野山北・六道山公園」です。

ここは、2006年度より、指定管理者制度によって、民間の企業とNPOの連携組織「西武・狭山丘陵パートナーズ」によって管理、運営が行われています。

NPO職員が公園スタッフを勤め、都民協働による公園管理を推進しています。公園に想いを寄せ、継続した自主活動を行う「公園登録ボランティア」が、今年度は200名を超えたとのこと。興味に応じて、学べるプログラムが豊富にあり、学んだ成果をその場で生かせる仕組みは、ボランティアの意欲を引き出します。そのパワーによって、公園がどんどんステキになってゆく実感を得られることから、次なるパワーが湧くのです。

大田区にも、公園の管理と活用に、自主的に関わることのできる「ふれあいパーク活動」という仕組みがありますが、大規模な公園で、もう少しダイナミックな活動を展開してみたいと思います。

←公園ボランティアによる「里山ガーデナー活動」



↑野山北・六道山公園見学風景。200名を超える年間登録ボランティアが活躍しています。



みどりの拠点づくり



↑中目黒公園内にある「花とみどりの学習館」、充実した施設にうっとり。

「大田区にもあったらいいなあ！」と感じたのは「花とみどりの学習館」です。公園内の花壇に植える花を育てる温室や、堆肥を作る場所、公園に関わる団体の活動紹介パネルを展示できる情報発信コーナーや図書コーナー、講座やセミナーを行う場所に、ボランティアのためのミーティングルーム…と、大変充実しています。

世田谷区にある「フラワーランド」も同様に、区内で活躍する緑のボランティアを育成する場として、また区民が緑に親しむ場として運営されています。ここで長年講師を務められている新宅先生が大田区の方というご縁もあり、私たちも親しみを感じる場所としてお邪魔させていただきました。

大田区には、こうした「みどりの拠点」といえる施設がありません。区民がみどりのことで困ったとき、相談したいことができたときに、気軽に訪れることで解決のきっかけがつかめる、そんな場所を作りたいものです。

中目黒公園（目黒区）、 フラワーランド（世田谷区）

中目黒公園は、近隣住民とのワークショップで作られた公園で、公園内の各施設の運営管理にも、近隣住民がとても積極的に関わっています。もちろん公共空間としての制限やルールはありますが、自分たちで管理・活用することを大前提とした公園作りはとてもうらやましく感じました。

その中でも特に、



↑世田谷区「フラワーランド」は花の公園として、区民に親しまれています



安全緑地づくり

安全緑地（NPO法人 日本公開庭園機構）

「公開庭園」とは、いわゆる「オープンガーデン」のことですが、イギリスのチャリティを目的としたもの、日本各地で広がっている交流を目的としたものとは趣向が異なり、「みどりの施策を、公共の緑地だけでなく、個人所有の緑地＝個人の庭にも広げよう」という趣旨で行っている団体があります。

NPO 日本公開庭園機構代表の佐藤哲信さんは「都市において、公共の土地は全体の3割程度。残りの7割は民有地なのだから、民有地の緑を大事に守る事こそ、本当の緑地保全につながる」と、その熱い想いを語ります。また、「公共の土地も、個人の土地も、全ては道路に接している。その面をブロック塀でなく、生け垣などで緑化することによって、まちの景観も向上するし、さら

には、防災上の安全性も高まる」ということから「道沿いガーデン」さらには、「安全緑地」という概念を提唱されています。私たちもその考えに共感し、佐藤さんの提案によって作られた日野市の安全緑地を視察しました。

子どもたちが学校に通う通学路は、当然学校に通じますが、学校の周辺は、高いブロック塀で囲まれて見通しが悪くなっている箇所が多くあります。そんな場所を見つけ、角を切り取って緑化することで、グンと見通しがよく安全になり、さらには近隣の人が集まるコミュニティスペースにもなるのです。

学校周辺に限らず、まちの安全を作り出す「安全緑地」を大田区でも広げ、ぜひ近年中に第1号の安全緑地を作ってみよう！と考えています。

学校の角に当たる部分を安全緑地に→



いろいろな夢を語りつつ、それらを実現するためには、私たち自身がより学びを深め、技術力を高める必要があります。

今、当会で力を入れて学んでいることのひとつに、「種まきによる花苗づくりの技術向上」があります。さまざまな園芸ボランティアグループの知恵を学ぶため、各地に出向いています。花苗は生き物ですので、その年の気候条件に左右される事も多いのですが、経験を蓄積することによって、的確な判断を行う事ができるようになりたい、と勉強を重ねています。

その他にも夢は色々



↑NPO法人メリーポピンズの会のボランティアフォーラム。誠実さと情熱に刺激を受けました。

また、都内では難しいと言われている「オープンガーデン」も、いつか大田区で実施してみたい事のひとつです。地域の観光資源と連動させた取り組みとして、企画出来たらと考えています。今年の春には、岡山でスイセンの庭を公開するオープンガーデンを訪ねてきましたが、その「おもてなしの心」と植物にかける情熱に、大変心を打たれました。花やみどりを愛する人が多く暮らすまちは、きっと、安心安全で暮らしよいまち、そして、それがひいては「地球温暖化」「生物多様性」「ヒートアイランド」といった、地球規模の環境問題に関心を持って関わるための入口と、私たちは考えます。これからも、夢を原動力に、感度を高く、活動を続けていきたいと思っています。



↑岡山で見学した「オープンガーデン」庭のみならず、オープンな心にも感激！

秋の活動予定

詳細は下記
連絡先まで

- ◆9/6(日) 花とみどりのつどい(神奈川県立七沢森林公園)
今月は特別バージョン。自然観察に出かけます。
- ◆9/9(水) 大森南園場オープンデー 10:00~12:00 雨天決行
- ◆9/11(金) 南久が原園場オープンデー 10:00~12:00 小雨決行
「オープンデー」では、花苗の育成活動を行います。
参加希望の方は、事務局までお問い合わせください。
- ◆10/10(土)・11(日) おおた商い観光展2009 出展(大田区産業会館 Pio)
公園内で行っている野草の育成活動の紹介とセミナーを行います。
- ◆10/18(日) 田園調布グリーンフェスタ 出展(田園調布せせらぎ公園)
公園内で行っている野草の育成活動の紹介とセミナーを行います。
- ◆10/31(土)・11/1(日) 生活展 出展(消費者生活センター)
昨年に引き続き、会場入口で球根と花苗の販売を行う予定です。
- ◆11/7(土)・8(日) OTAふれあいフェスタ2009 出展(平和の森公園)
毎年好評の花の販売と、寄せ植え体験を行う予定です。



春のオープンデー。小さな花苗を植替えました



生活展では秋植え球根の販売をいたします。



About us...わたしたちについて...

大田・花とみどりのまちづくりの活動マップ

このマップの場所以外でも
◎保育園、児童館の花壇作り
◎特養の樹木の剪定
◎個人のお庭の手入れ
◎各種セミナー、イベント協力
◎学校の授業への協力
など幅広く活動しています

田園調布せせらぎ公園
・「花とみどりのつどい」を毎月第一日曜13時~15時開催。花やみどりが大好きな人たちの交流の場となっています。

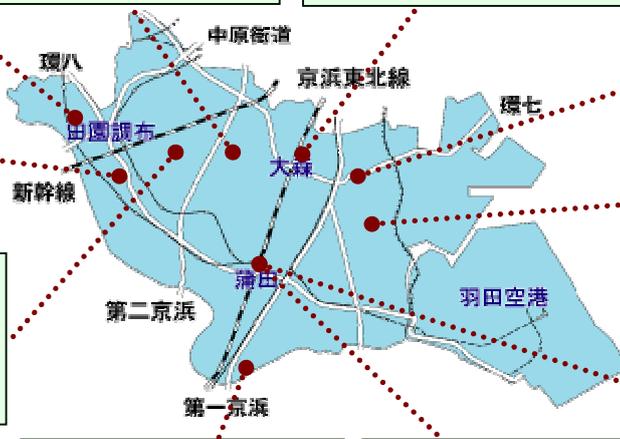
南馬込区民農園(2カ所)
・区民農園の整備・管理・運営
・毎月第二日曜に、オープンデーとして管理作業や勉強会を行っています。

大森駅前花壇
・管理活動:毎週火曜日
冬季:10時~(夏季:9時~)
・駅前だけでなく、バス通りや商店街にも花壇があります。

区民プラザ前プランター
・管理活動:毎週木曜9時~
四季折々、きれいな花を楽しめるように心がけています。

平和の森公園
・「街山プロジェクト」として、年間を通じて様々な活動をしています。観察会や勉強会も随時行っています。

南久が原園場
・管理活動:毎月第2・4金曜10時~12時
・地域に植えるための花苗を育てる活動もしています。



大森南園場
・管理活動:毎週水・金曜日9:00~16:00
・保育園児のお散歩コースや地域の方たちの学びの場にもなっています。

お問合せは気軽に
03-3734-7932 まで

六郷土手花壇
・管理活動:毎月最終日曜日10時~12時
・近隣町会の皆さんにもご協力をいただいています。

区役所本庁舎前プランター
・管理活動:蒲田駅前花壇の管理作業の後に実施
・区の玄関なので、常にきれいに、張り切っています。

蒲田駅前花壇
・管理活動:毎週火曜日9時~
・駅前だけでなく、西口、東口のバス通りの花壇も管理しています。

会員募集中!

大田区内のあらゆるところで活動しています。花やみどりに直接触れる活動はもちろん、みどりの活動を縁の下でサポートする事務作業や、運搬のための車の運転など、さまざまな活動があります。

特に運転手を大募集中!!

あなたもぜひ、参加してみませんか?体験入会も歓迎です。お問合せは右記事務局まで。⇒⇒入会案内と最新の会員だよりをお届けします。

編集後記

今回、アカデミックな場にお招き頂き、少々緊張していますが、背伸びをせずに、私たちらしさをそのままメッセージにすることで、市民の確かな役割をお伝えできるかな、と思います。市民パワーの底力の一端が少しでも伝われば幸いです。(F)

発行:NPO法人 大田・花とみどりのまちづくり
〒144-0051 大田区西蒲田 7-24-7-203
tel & fax : 03-3734-7932
E-mail : npoogc@yahoo.co.jp